

職員数 14 回収数 14 割合 100%

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	職員からの意見	改善点等
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	2	0	室内での声の音量を指導したほうが良い。	・スペースの広さにかかわらず、「声の大きさ」の学びは必要と感じております。
	2 職員の配置数は適切であるか	11	2	1	配置数には問題ないが、ドライバーの確保が不十分だと思う。 差が激しい時がある。 多い日と少ない日の差が激しい。	・少なくとも6名の職員の確保を今後とも行います。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	4	3	バリアフリー化が必要な児童が在籍していない。 今、必要性はない。 必要としている子がいない。	・今後、必要に応じて環境を整えてまいります。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、多くの職員が参画しているか	9	4	1		
	5 保護者向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	3	2		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	5	2		
	7 第三者による外部評価を行い、結果評価を業務改善につなげているか	7	6	1		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	2	1		
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	2	2		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	3	2		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	3	1	長期間のお休みのみ。	
	12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	13	1	0		
	13 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	2	0		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	3	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	2	0	必ずではない。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	8	5	1	送迎おわりにミーティングを行うと退勤時間が遅くなり、あまり共有されていない。 必ずではない。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	2	0		
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	4	2		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	9	3	2		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	3	1		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12	0	2		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	5	3	かかりつけ医や主治医は把握している。	・常時医療的ケアが必要な児童はいないが、てんかん等発作を起こしうる児童はいる。該当する児童については、保護者様から対応については確認して、周知を図っている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	4	2		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	5	3		
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言研修を受けているか	7	3	4		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	8	2	課外活動以外には関わりが少ない。	コロナ禍ということもあり、他施設との交流を積極的には行えなかった。今後は検討してまいります。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	7	2		
保護者への	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	0	帰りの時に伝えるように努力はしていると思います。	・帰りの引き渡し時に伝えてだけでなく、連絡帳に担当したものが記載して、保護者様に伝えられるようにしている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	6	2	送迎時の会話を大切にしている。	・実際にはペアレントトレーニング等は実施していないが、ご相談いただいた際には回答している。
	30 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	1	1		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	0	0	悩みを教えてくださいとときに寄り添う気持ちがあるけれど、適切に出来ているかは分かりません。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	8	2		
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	1		

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	5	1		
	35	個人情報に十分注意しているか	14	0	0	しようと思っております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0	0	しようと思っております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	10	0		
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	3	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	2	2	グループ全体研修の機会が少ない。	*ケース会議や児童対応、学習支援の方法等研修を増やす必要があると考えています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	3	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	2	3		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	7	1	共有時間が少ない。	*今後とも事例については共有するツールを増やして参ります。	